



第6回
子ども市議会



平成20年7月28日
開会

会

録

議



別府市議会議長

山本 一成

子ども市議会を終えて

第6回を迎えます「べっぷ子ども市議会」の開催に当たりまして、各小中学校の先生方、子ども会育成会連合会の皆さま、PTA連合会の皆さま、そして保護者の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

今回の子ども市議会を通じて、子ども議員は大人とは違った視点や自分たちの住むまち別府を心から明るく住みよいまちにしたいという考えで、質問、提言や子ども宣言をしていただきました。

その生き生きとした姿に接し、別府の将来への期待が膨らむとともに、この純真な子どもたちの住む別府を希望あふれるまちにしていかなければならないと、心を新たにしましたところでもあります。

今後とも、子どもたちの幸せな環境づくりのため、また、一人でも多くの子どもたちが、自分たちの理想とするまちづくりを考え、そして、行動することが出来るよう皆さまのなお一層のご協力をお願いいたします。



別府市長

浜田 博

別府の未来を担う子ども市議会

第6回を迎えました小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、次世代を担う子どもたちの確かな視点と創造性豊かな提言により、実り多き、大変素晴らしい子ども市議会となりました。

別府がもつ財産を再認識し、観光客に愛され、信頼される町であってほしいと願う子ども宣言「信頼される町 別府」は市民全員で取り組まなければならないものであり、実行してまいりたいと考えています。

私たちは夢と希望に満ちあふれる美しい町、信頼される町をめざし、「ONSENツーリズム」を一層推進することにより、次世代の子どもたちのためのまちづくりを進めていかなければならないことを改めて認識することができました。

第6回「べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方、保護者の方々、関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、「べっぷ子ども市議会」のますますの発展をご期待いたします。

議長



若杉 衿花議員
(青山中3年)

副議長



都築 慶子議員
(朝日中3年)

一般質問



貝ヶ石 旭議員
(中部中3年)



石川 風花議員
(野口小6年)



村上 玄議員
(青山中3年)



今村 日菜美議員
(石垣小6年)



小野 友寛議員
(北部中3年)



山田 涼佳議員
(北小6年)



工藤 夕貴議員
(浜脇中2年)



三城 早希子議員
(西小6年)



五十川 慎之介議員
(山の手中1年)



佐藤 あき議員
(東山中 2年)



藤原 美紗議員
(鶴見台中 2年)



長瀬 慶也議員
(亀川小 6年)



金光 謙議員
(朝日小 6年)



新田 優作議員
(境川小 6年)



野木 鵬太議員
(朝日中 3年)



姫野 友美議員
(南立石小 6年)

提 言



佐々木 由希乃議員
(青山小 6年)



神 竜大議員
(南小 6年)



岡本 昌也議員
(緑丘小 6年)



市原 秀美議員
(上人小6年)



梶谷 真央議員
(春木川小6年)



安部 駿志議員
(鶴見小6年)



伊藤 楓議員
(大平山小6年)



荒金 奈央子議員
(浜脇中2年)



山口 飛鳥議員
(東山中2年)



西村 祐人議員
(北部中3年)



田原 輝明議員
(東山小6年)



後藤 悠議員
(山の手中2年)

子ども宣言



西山 育宏議員
(鶴見台中2年)

謝辞



佐藤 貴洋議員
(中部中3年)

第6回「べっぴん子ども市議会」会議録 目次

・会期日程表	1
・子ども議員提出議案議決結果	1
・一般質問者一覧表	1
・提言者一覧表	3
第1号（7月28日・月曜日）	
・出席議員	5
・欠席議員	6
・説明のための出席者	6
・その他出席者	6
・議会事務局出席者	7
・議事日程表（第1号）	7
・本日の会議に付した事件	7
・開 会	9
・議席の指定	9
・会議録署名議員の指名	11
・会期の決定	11
・一般質問	11
質問者・貝ヶ石 旭 議員	11
答弁者・阿南 俊晴 ONSENツアーズ部長	12
浜田 博 市長	12
質問者・石川 風花 議員	13
答弁者・高森 克史 建設部長	13
浜田 博 市長	13
質問者・村上 玄 議員	14
答弁者・阿南 俊晴 ONSENツアーズ部長	15
浜田 博 市長	15
質問者・今村 日菜美 議員	16
答弁者・中野 義幸 総務部長	16
宇都宮 俊秀 福祉保健部長	16
浜田 博 市長	17
質問者・小野 友寛 議員	17
答弁者・郷司 義明 教育長	18
浜田 博 市長	18

質問者・山田涼佳	議員	19
答弁者・高森克史	建設部長	19
浜田博	市長	20
質問者・工藤夕貴	議員	20
答弁者・徳部正憲	生活環境部長	21
浜田博	市長	21
質問者・三城早希子	議員	22
答弁者・高森克史	建設部長	22
浜田博	市長	23
(休憩・再開)		23
質問者・五十川慎之介	議員	23
答弁者・阿南俊晴	ONSENツクリス部長	24
浜田博	市長	24
質問者・佐藤あき	議員	25
答弁者・徳部正憲	生活環境部長	25
浜田博	市長	26
質問者・藤原美紗	議員	26
答弁者・亀山勇	企画部長	27
郷司義明	教育長	27
浜田博	市長	27
質問者・長瀬慶也	議員	28
答弁者・宇都宮俊秀	福祉保健部長	28
浜田博	市長	29
質問者・金光謙	議員	30
答弁者・徳部正憲	生活環境部長	30
浜田博	市長	31
質問者・新田優作	議員	31
答弁者・阿南俊晴	ONSENツクリス部長	32
浜田博	市長	32
質問者・野木鵬太	議員	33
答弁者・阿南俊晴	ONSENツクリス部長	33
郷司義明	教育長	34

	浜田博市長	34
	質問者・姫野友美議員	35
	答弁者・高森克史建設部長	35
	阿南俊晴ONSENツアーズ部長	36
	浜田博市長	36
(休憩・再開)		36
・提言の発表	提言者・佐々木由希乃議員	37
	答弁者・浜田博市長	37
	提言者・神竜大議員	38
	答弁者・浜田博市長	38
	提言者・岡本昌也議員	39
	答弁者・浜田博市長	39
	提言者・市原秀美議員	40
	答弁者・浜田博市長	40
	提言者・梶谷真央議員	41
	答弁者・浜田博市長	42
	提言者・安部駿志議員	42
	答弁者・浜田博市長	43
	提言者・伊藤楓議員	43
	答弁者・浜田博市長	44
	提言者・荒金奈央子議員	45
	答弁者・浜田博市長	45
	提言者・山口飛鳥議員	46
	答弁者・浜田博市長	46
	提言者・西村祐人議員	47
	答弁者・浜田博市長	47
	提言者・田原輝明議員	48
	答弁者・浜田博市長	48

	提言者・後藤 悠 議員	49
	答弁者・浜田 博 市長	49
・	議員提出議案第1号子ども宣言について、上程	50
・	提案理由説明 西山育宏 議員	50
・	表 決	51
・	閉 会	51

[閉 会 式] 目 次

・	閉会式次第	53
・	閉 会	55
・	市長あいさつ 浜田 博 市長	55
・	記念品の贈呈 郷司 義明 教育長	56
・	子ども議員代表者謝辞 佐藤 貴洋 議員	56
・	閉 会	57

第6回「べっぷ子ども市議会」会議録

○会 期 平成20年7月28日(1日)

○会期日程表

平成20年7月28日 (月) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

平成20年7月28日 原案可決

○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	25番議員 中部中学校 貝ヶ石 旭	観光による支出と収入について
2	1番議員 野口小学校 石川 風花	児童館をつくってほしいが計画はあるの
3	31番議員 青山中学校 村上 玄	今後の別府市の観光スポットの展望

4	12番議員 石垣小学校 今村 日菜美	車いす専用駐車場を増やしてほしい
5	27番議員 北部中学校 小野 友寛	別府市の教育方針について
6	3番議員 北小学校 山田 涼佳	子どもが海で遊べる海岸線の整備
7	23番議員 浜脇中学校 工藤 夕貴	朝見川の環境状況について
8	5番議員 西小学校 三城 早希子	遊具のある公園をつくる予定について
9	19番議員 山の手中学校 五十川 慎之介	伝統工芸である竹細工を若い世代に受け継ぐ方策を考えてほしい
10	17番議員 東山中学校 佐藤 あき	東山小・中学校で取り組んだゴミ問題について
11	30番議員 鶴見台中学校 藤原 美紗	不審者に対する市の安全対策はどのようになっているか
12	9番議員 亀川小学校 長瀬 慶也	ワンコインバスの導入について（高齢者の交通手段）

13	11番議員 朝日小学校 金光 謙	ゴミを減らす工夫について
14	2番議員 境川小学校 新田 優作	修学旅行生に来てもらうためには
15	21番議員 朝日中学校 野木 鵬太	温泉施設とスポーツ施設の融合について
16	7番議員 南立石小学校 姫野 友美	ドッグランの設置

○ 提言者一覧表

提言 順位	提言議員	提言内容
1	6番議員 青山小学校 佐々木 由希乃	学校のバリアフリー化について
2	4番議員 南小学校 神 竜大	留学生が大学を卒業しても別府に住んでくれる工夫
3	14番議員 緑丘小学校 岡本 昌也	住みよい観光都市別府
4	10番議員 上人小学校 市原 秀美	校区の一人暮らしの高齢者とのふれあい活動を通して感じたこと

5	13番議員 春木川小学校 梶谷真央	A P Uの留学生等外国の方との言葉や文化交流を深めたい
6	8番議員 鶴見小学校 安部駿志	あき缶のふたを集めることで交流している別府養護学校へ車いすを贈りたい
7	15番議員 大平山小学校 伊藤楓	地球環境やごみ問題について
8	24番議員 浜脇中学校 荒金奈央子	公園のごみばこ設置について
9	18番議員 東山中学校 山口飛鳥	志高ユートピア跡地の有効活用について
10	28番議員 北部中学校 西村祐人	亀川に大きなレジャー施設を作ってほしい
11	16番議員 東山小学校 田原輝明	市の文化施設について
12	20番議員 山の手中学校 後藤悠	別府市のクリーンアップについて私たちが できること

第6回「べっぷ子ども市議会」会議録(第1号)

平成20年7月28日

○出席議員(32名)

1番議員	野口小学校	石川風花	さん
2番議員	境川小学校	新田優作	君
3番議員	北小学校	山田涼佳	さん
4番議員	南小学校	神竜大	君
5番議員	西小学校	三城早希子	さん
6番議員	青山小学校	佐々木由希乃	さん
7番議員	南立石小学校	姫野友美	さん
8番議員	鶴見小学校	安部駿志	君
9番議員	亀川小学校	長瀬慶也	君
10番議員	上人小学校	市原秀美	さん
11番議員	朝日小学校	金光謙	君
12番議員	石垣小学校	今村日菜美	さん
13番議員	春木川小学校	梶谷真央	さん
14番議員	緑丘小学校	岡本昌也	君
15番議員	大平山小学校	伊藤楓	さん
16番議員	東山小学校	田原輝明	君
17番議員	東山中学校	佐藤あき	さん
18番議員	東山中学校	山口飛鳥	君
19番議員	山の手中学校	五十川慎之介	君
20番議員	山の手中学校	後藤悠	さん
21番議員	朝日中学校	野木鵬太	君
22番議員	朝日中学校	都築慶子	さん
23番議員	浜脇中学校	工藤夕貴	さん
24番議員	浜脇中学校	荒金奈央子	さん

25番議員	中部中学校	貝ヶ石	旭君
26番議員	中部中学校	佐藤	貴洋君
27番議員	北部中学校	小野	友寛君
28番議員	北部中学校	西村	祐人君
29番議員	鶴見台中学校	西山	育宏君
30番議員	鶴見台中学校	藤原	美紗さん
31番議員	青山中学校	村上	玄君
32番議員	青山中学校	若杉	衿花さん

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市長	浜田	博君	副市長	松丸	幸太郎君
副市長	友永	哲男君	教育長	郷司	義明君
監査委員	櫻井	美也子君	水道局長	松岡	真一君
総務部長	中野	義幸君	企画部長	亀山	勇君
ONSENツーリズム部長	阿南	俊晴君	建設部長	高森	克史君
生活環境部長	徳部	正憲君	福祉保健部長	宇都宮	俊秀君
消防長	岩本	常雄君	会計管理者	三ヶ尻	栄志君

○その他出席者

別府市議会議長	山本	一成君
別府市議会副議長	萩野	忠好君
別府市議会子ども会を支える議員連盟会長	首藤	正君
別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長	永井	正君
別府市子ども会育成会連合会副会長	大鍛治	光子君

別府市PTA連合会会長 後藤 智君

○議会事務局出席者

局長	中尾 薫	参事	大野 光章
次長	渡辺 敏之	次長	永野 修子
主査	花田 伸一	主査	石崎 聡
主任	樋田 英彦	主任	中村 賢一郎
主事	南 英子		

○議事日程表（第1号）

平成20年7月28日(月曜日) 午前8時50分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提言

第6 子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）

○市議会事務局長（中尾 薫君） おはようございます。

開議に先立ち、子ども議員皆さんの記録用写真を撮影しますので、子ども議員の皆さん方は、議長席のカメラを持った職員を見てください。

傍聴席の皆様並びにご来賓の皆様方は、恐れ入りますが、今、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[写真撮影]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただいまより、議長、副議長の選出を行います。議長、副議長は、あらかじめ決定されております。御紹介をさせていただきます。議長は、青山中学校3年・若杉衿花さんです。副議長は朝日中学校3年・都築慶子さんです。

若杉さんと都築さんは、議長席、副議長席までお願いいたします。

午前8時50分 開会

○議長（若杉衿花さん） おはようございます。

ただいま、ご紹介をいただきました、議長役の青山中学校の若杉衿花と副議長役の朝日中学校の都築慶子さんです。

私たちのまち別府が楽しく、住みよいまちになるように、きょうの子ども市議会をがんばりたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

これより第6回べっぷ子ども市議会を開会いたします。

開会にあたり、市長さんをはじめ多くの皆さんの出席をいただきました。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げてもらいます。

○市議会事務局（永野修子さん） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、「はい」と返事をし、その場で起立の上、一礼をしてください。

1 番議員 野口小学校 石川 風花 さん

2 番議員 境川小学校 新田 優作 君

3 番議員 北小学校 山田 涼佳 さん

4番議員	南小学校	神 竜 大 君
5番議員	西小学校	三 城 早希子 さん
6番議員	青山小学校	佐々木 由希乃 さん
7番議員	南立石小学校	姫 野 友 美 さん
8番議員	鶴見小学校	安 部 駿 志 君
9番議員	亀川小学校	長 瀬 慶 也 君
10番議員	上人小学校	市 原 秀 美 さん
11番議員	朝日小学校	金 光 謙 君
12番議員	石垣小学校	今 村 日菜美 さん
13番議員	春木川小学校	梶 谷 真 央 さん
14番議員	緑丘小学校	岡 本 昌 也 君
15番議員	大平山小学校	伊 藤 楓 さん
16番議員	東山小学校	田 原 輝 明 君
17番議員	東山中学校	佐 藤 あ き さん
18番議員	東山中学校	山 口 飛 鳥 君
19番議員	山の手中学校	五十川 慎之介 君
20番議員	山の手中学校	後 藤 悠 さん
21番議員	朝日中学校	野 木 鵬 太 君
22番議員	朝日中学校	都 築 慶 子 さん
23番議員	浜脇中学校	工 藤 夕 貴 さん
24番議員	浜脇中学校	荒 金 奈央子 さん
25番議員	中部中学校	貝ヶ石 旭 君
26番議員	中部中学校	佐 藤 貴 洋 君
27番議員	北部中学校	小 野 友 寛 君
28番議員	北部中学校	西 村 祐 人 君
29番議員	鶴見台中学校	西 山 育 宏 君
30番議員	鶴見台中学校	藤 原 美 紗 さん
31番議員	青山中学校	村 上 玄 君
32番議員	青山中学校	若 杉 衿 花 さん

以上でございます。

○議長（若杉衿花さん） ただいま、職員の方に読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、

2番 新田優作君

16番 田原輝明君

19番 五十川慎之介君

以上、3名の方をお願いいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。子ども市議会の会期は本日一日といたしますが、ご異議ありませんか。

〔〔異議なし〕の声あり〕

○議長（若杉衿花さん） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は本日一日と決定いたしました。

次に、日程第4により、一般質問を行います。一般質問者は16名です。質問順位により、質問をお願いいたします。

最初に、25番議員、中部中学校の貝ヶ石旭君の一般質問をお願いいたします。

〔25番議員 貝ヶ石旭君、登壇〕

○25番議員（貝ヶ石旭君） 昔から別府は温泉や地獄めぐりなどで観光が注目されています。そのような観光地にぼくは何度も行って、とても楽しかったです。また土曜日や日曜日になると、県外からの観光客も多く目にします。

しかし、最近、別府より近隣の由布院の方が全国での知名度が高いような気がします。そうすると、以前まで来ていた別府への観光客が由布院へ流れていくのではないかと思います。

それでも、別府は由布院にはない、よい所がたくさんあると思うので、そのよい所を多くの人に知ってもらい、来た方には「また来たい」と思うような別府をつくり、もっと別府を盛り上げていったほうがよいと思います。

そこで別府市の観光による収入と、どれくらい宣伝にお金をかけているのか、また現在行っている別府の宣伝活動があれば、ぜひお聞かせください。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

まず、別府市の観光による収入についてですが、この金額を正確に算出することは難しいのですが、目安となる数字としまして、観光消費額というものがあります。これは、別府市の観光客数に宿泊単価等を掛けて算出した金額です。平成18年は国内外から約1,177万人のお客様が別府市に来ていただき、その年の観光消費額は、約1,489億円となっています。

続いて、観光宣伝にかかる費用ですが、平成20年度は、約1億4千万円を予定しています。

また、現在行っている観光宣伝の活動ですが、国内、国外への宣伝に加えて、今年度からは「別府リバイバル新婚旅行」の宣伝を始めました。これは、主に昭和30年代から40年代、別府が新婚旅行のあこがれの地であった時代に、別府に新婚旅行に来られたご夫婦に思い出の場所「別府」を再び訪れていただくという企画です。

宣伝活動を進めるにあたっては、観光の仕事に関わる方々や、市役所を中心に取組みを進めていきます。また、「おもてなしの心」でお客様をお迎えし、別府の観光・地域振興につなげていきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 貝ヶ石旭議員の質問にお答えいたします。

別府市は観光と地域づくりを一体としたONSENツーリズムを推進するため、市民と協働のまちづくりを進めています。先ほど部長がお答えしましたリバイバル新婚旅行の取り組みにつきましても、観光客の誘致活動だけでなく、市民全体のおもてなし意識を高め、ONSENツーリズムの振興に結び付けていきたいと考えています。

貝ヶ石議員の別府を想う熱い気持ちが私にも伝わってきました。これからも、その気持ちを大事にしてください。貴重な質問をありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 25番。

○25番議員（貝ヶ石旭君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、1番議員、野口小学校の石川風花さんの一般質問をお願いいたします。

[1番議員 石川風花さん、登壇]

○1番議員（石川風花さん） わたしは、子どもたちが楽しく安全に遊べる公園や、児童館について質問します。

わたしの住んでいる野口小校区には現在子どもたちが安心して遊べる公園や児童館がありません。近くには、海門寺公園や別府公園がありますが、校区外なので大人と一緒にないと行くことができません。また、行く途中に危険な場所もあったり、車の通りが多い道路を通ったりするので、子どもだけで行くのはとても危険です。特に低学年などの小さい子どもが行くのはもっと危険です。そこで、私たちは放課後、外で遊ぶときは学校の運動場や遊具で遊んでいます。しかし、運動場は社会体育でサッカーが使っていたり、遊具も少ないので十分に遊ぶことができません。どうしても友だちの家に行き、家の中で遊ぶことが多くなっています。

次に家に帰ってもおうちの人が働いているため、子どもだけで過ごしている家庭もあります。放課後子どもたちがもっと安全に過ごせる場所として児童館が小学校校区に一つあるといいと思います。現在、別府市には南部児童館、北部児童館、西部児童館の三つしかありません。これらの児童館も校区外にあり、子どもだけでは行くことはできません。おうちの人が働いている家庭の子どもは利用することもできないと思います。野口小校区の子どもだけでなく、ほかの小学校の子どもたちの中にも利用できない人がいると思います。

そこで質問です。これから児童館をつくる計画はあるのでしょうか。もし、なければ今後の可能性についてお聞かせください。

○議長（若杉衿花さん） 建設部長。

○建設部長（高森克史君） お答えいたします。

石川議員が言われるように、野口校区の中に公園はなく、大変ご不便をおかけしています。

現在のところ、野口校区に公園を設置する計画はありませんが、校区に隣接して、遊具を設置している海門寺公園と野口公園があります。また、少し離れますが別府公園もありますので、少し遠いかもしれませんが、ご利用ください。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 石川風花議員の質問にお答えします。

石川議員の住んでいる野口校区内には残念ながら公園がありません。

野口校区に公園を作ってほしいという気持ちはよくわかりますが、公園を造るためには広い土地が必要ですし、費用もたくさんかかります。

今のところ野口校区内に公園をつくることは難しい状況です。校区に隣接して海門寺公園や野口公園があり、また、広い別府公園もありますので、保護者の方と一緒に利用していただき、また、お友だちも誘って思い切り遊んでいただきたいと思っています。

また、児童館につきましても、放課後、子どもたちが安全に過ごせることができ、子どもたちの成長に貴重な役割を担っている場所であると考えていますので、今後作成する「べっぷ子ども次世代育成支援行動計画」の中で、検討をおこなっていきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 1番。

○1番議員（石川風花さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、31番議員、青山中学校の村上玄君の一般質問をお願いいたします。

[31番議員 村上 玄君、登壇]

○31番議員（村上 玄君） 別府の観光スポットといえば、「温泉」、「地獄めぐり」が有名です。全国でも有数の温泉地であることは、別府市の誇りだと思います。別府市は、温泉や、観光に関係する仕事をしている人の割合が、非常に高いと聞いたことがあります。別府市が活性化するためには、観光客がたくさん来ないとだめです。しかし残念ながら、中学生から見ると、「温泉や地獄めぐり」など、あまり興味を引くものではありません。「そのほかに見どころがありますか？」と聞かれると、あまり思いつきません。そういう意味でもまだまだ別府市は工夫が必要です。僕たちの世代が興味を持つ観光スポットはできないもののでしょうか。例えば、温泉を利用した、温泉プールなどがあるとよいです。もしかして、ぼくが知らない観光スポットがあるかもしれませんが、きっと他の観光客や中学生も同じだと思います。もっともっとアピールして、「別府には温泉以外にも楽しいところがあるぞ。」と思われる街になってほしいです。別府市には、若い世代の人たちを対象とした観光スポット作りをする計画があるのでしょうか。お聞かせください。よろしくお願いし

ます。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

別府の観光スポットとして「温泉」、「地獄めぐり」が有名ではありますが、その他にも多くの観光スポットがあります。

たとえば、観光施設連絡協議会に加盟している「セントレジャー城島高原パーク」、「アフリカンサファリ」などは、家族連れや若い世代の人たちも楽しめるのではないかと思います。

また、温水プールについては「別府市営温水プール」や杉乃井ホテルの「アクアビート」があります。

ただ、村上議員ご指摘のとおり、もっともっと別府の観光スポットをアピールしていく必要があると認識しています。

今のところ、若い世代向けに新たに観光施設をつくる計画はありませんが、今ある施設と連携を取りながら、若い世代の人たちが楽しめる工夫やプログラム開発に努めていきたいと思っています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 村上玄議員のご質問にお答えいたします。

別府市では、豊かな温泉を中心とした総合産業の振興を「ONSENツーリズム」という言葉で表現しています。ONSENツーリズムを推進していく上で、温泉以外の産業の発展も重要だと考えます。

村上議員が「別府には温泉以外にも楽しいところがあるぞ」と思われるまちになってほしい、と思ってくれていることは大変うれしく思いますし、私も同じ思いを持っています。今後は、温泉以外についてもアピールをして、若い世代の人たちも楽しめる魅力あるまちづくりを進めていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 31番。

○31番議員（村上玄君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、12番議員、石垣小学校の今村日菜美さんの一般質問をお願いいたします。

[12番議員 今村日菜美さん、登壇]

○12番議員（今村日菜美さん） 私の祖父は、若い頃仕事の現場で高いところから落ちて、それが原因で7年位前から、下半身が不自由になり、今では外出する時は、車いすが絶対必要です。病院や市役所、買い物などに祖父といっしょに出かけたときは、車いす専用駐車場に車を止めるんですが、そこによく、体が不自由でない人たちが駐車しています。私の父や母がそういう車を見ると、「また障がいがないのに止めている」と必ず言います。私もそれを聞くと、マナーが悪いなと思います。

私は、体が不自由な人専用駐車場の数を増やしてほしいと思っています。また、それが難しいなら、本当に必要な人以外の人たちが止めないようにする工夫をしてほしいと思います。そこで、別府市の各施設では専用駐車場を増やす計画はありますか。また、そこに、障がいのない人が車を止めていることはありませんか。もしあるのなら、止められない工夫を何かしていますか。教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 総務部長。

○総務部長（中野義幸君） お答えいたします。

現在、市役所の駐車場には北側駐車場に2台、西側駐車場に2台、合計4台の障がい者専用スペースを確保しています。

通常は、この4台分でもかなえようと考えていますが、市役所で大きな行事や参加者の多い会議がある場合には、足りなくなることもあると思います。

障がい者専用スペースを増やしてはどうかとのご質問ですが、現在の専用スペースの利用状況等を調査し、増やす必要があると判断した場合には増やしたいと考えています。

また、体が不自由ではない人が障がい者専用スペースに駐車しないようにしてほしいとのことですが、現在、市役所の警備員がそのような人を見かけたら注意するようにしています。今後は、警備員だけでなく、職員全体で障がい者専用スペースの利用について監視を強めるとともに、駐車場利用者のマナーアップを図る努力を続けていきたいと思っています。

○議長（若杉衿花さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（宇都宮俊秀君） お答えいたします。

自動車は、高齢者や障がい者の方々にとって有効な移動手段であるため、駐車場

には障がい者専用スペースの確保が必要です。

体が不自由ではない人たちが障がい者専用スペースに止めないようにする工夫については、駐車区画について、障がい者専用スペースであることを、路面標示や立て看板などで、見やすく表示する方法が考えられます。しかし、今村議員が感じられているとおり、本当に必要なのは、人を思いやる心のバリアフリーと考えています。

また、障害福祉課が管理している施設である別府市身体障害者福祉センター駐車場については、約20台の駐車場のうち、8台分について、障がい者が優先して駐車できるように「車いす使用者専用駐車施設の標識」を記しています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 今村日菜美議員の質問にお答えいたします。

先ほど、部長がお答えいたしました。市役所の駐車スペースについては早速調査し、必要があれば増やすことも考えていきたいと思っております。

また、利用者のマナー向上を図ることが最も大切なことであると思っておりますので、今後も利用者のマナーの向上に向け努力していきたいと考えています。

これからも障がいを持つ方のみならず、高齢者や妊婦さんなどに対しましても、相手の立場に立ち、相手を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 12番。

○12番議員（今村日菜美さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、27番議員、北部中学校の小野友寛君の一般質問をお願いいたします。

[27番議員 小野友寛君、登壇]

○27番議員（小野友寛君） 私は北部中学校の生徒です。北部中学校では基本的な勉強をしたり、社会性を学び日々大人になるための準備をしています。体育大会という行事を通して全校生徒が声を出してきびきびと行動できるようになってほしいということを生徒会執行部という立場で真剣に考え話し合ってきました。そして体育大会や練習の中でその目標に向かって生徒一人ひとりが成長していきました。私たちが今学校生活を送るうえでどのような大人になっていけば良いかは学校の目標がある

ので、大体はわかっています。しかし、広い目で見たとときにこれから社会に出て行く私たちはどのような大人になっていけば良いのでしょうか。どのような大人をめざしていけば社会に出てもちゃんと活躍ができるのでしょうか。また、今別府市は私たちにどのような大人になっていってほしいと考えているのかを今後、学校生活を送る上で参考にしていきたいと思うので聞かせてください。

○議長（若杉衿花さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えいたします。

教育委員会としましては、皆さんに心豊かで、たくましく生きる大人になっていただきたいと考えています。そのために、皆さんに3つのことを頑張ってもらいたいと思います。

1つめは、友達を思いやる優しい心を持つことです。相手を思いやり助け合うことで、初めて、自分のなすべき責任が果たせるのです。

2つめは、確かな学力を身に付けることです。知識や技能、考える力というのは、仕事や社会生活をする上で基本的な力になります。学校での授業に一生懸命取り組み、そこで学んだ内容をしっかり身に付け、考える力を伸ばしてほしいと願っています。

3つめは、生きる力の源となる健康づくりのために体力を向上させることです。

この3つのことを参考にして、生徒会が中心となり、さらにすばらしい北部中学校生、そして大人になっていただくことを期待しています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 小野友寛議員の質問にお答えいたします。

小野議員が、将来社会に出て活躍できる大人になるために、今、中学生として、何をすべきか考え、実行していきたいと考えていることを大変頼もしく思います。

皆さんは、別府市そして我が国の将来を担う方たちです。社会の一員として自らの責任をしっかりと果たすことができ、社会のルールを守る大人になっていただきたいと思います。

教育長が先ほどお答えしました3つのことを目標にして、有意義な学校生活を送っていただき、将来、立派な大人になっていただくことを願っておりますし、また、大いに期待をしています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 27番。

○27番議員（小野友寛君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、3番議員、北小学校の山田涼佳さんの一般質問をお願いいたします。

[3番議員 山田涼佳さん、登壇]

○3番議員（山田涼佳さん） 私の通う北小学校は、海のすぐそばにあります。校区も海にそってほそ長く広がって、少し歩けば海がある家が多いです。

ところが海は私たちにとって身近なところではありません。海にはテトラポットなどがあるので、近寄ってはいけないことになっています。

北小では毎年夏にスパビーチ清掃やサンドアートを作って楽しんでいます。仲よし班のみんなでいっしょに砂山を作ったり、海そうをとってかざりつけたりして、とても楽しいです。別府は、海に面していて恵まれたきれいな町だと思います。この良さをいかすためにも海岸線の整備をして、子ども達や観光客が安心して気持ちよく楽しめる場所にしてほしいです。

私は、海岸に遊具などがあるといいなと思います。散歩に行ったりして楽しそうだからです。

そこで別府市のスパビーチ周辺の整備計画とその他の海岸線の整備計画を教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 建設部長。

○建設部長（高森克史君） お答えいたします。

スパビーチ周辺の整備計画についてですが、まず、境川から国際観光港までの餅ヶ浜地区で高潮対策事業を進めています。この事業は、高潮が発生したときに波が陸地に入り込むのを防ぐためのものですが、その陸地側には緑地の広場を整備する予定になっています。

また、北浜旅館街の海辺においても、高潮対策事業を行います。この地区でも同じように陸地側に緑地広場を整備します。

そして、北浜旅館街の南側では、北浜ヨットハーバーの整備を行っており、ここでは、今年開催される国体のセーリング競技が行われる予定になっています。

その他の海岸の整備計画についてですが、別府市の唯一の海水浴場である関の江地区では、砂浜を幅広く確保し、シャワーや更衣室、トイレのある管理棟や駐車場等の整備を行って、気持ちよく海水浴ができるように計画しています。

また、春木川北側の石垣地区では、緊急時は観光客や市民の避難場所として利用でき、通常時は憩いの場として様々な活動が可能な広場を整備します。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山田涼佳議員の質問にお答えいたします。

昔の別府は、見渡すかぎり砂浜の海岸で、いたるところで温泉が湧き、海水浴をしたり、砂湯を楽しんだり、たいへん賑わっていました。

しかしながら、都市化が進むにつれ、海岸を埋め立て、高いコンクリートの護岸とテトラポットに埋め尽くされ、海岸に近づけなくなり、海が遠くなってしまいました。

そこで、別府市は、先ほど部長がお答えしましたとおり、国や大分県の協力を得ながら、別府市の貴重な財産である「海辺」を取り戻し、皆さんが海に親しめるように、色々な事業に取り組んでいます。

山田議員の通う北小学校では、毎年スパビーチの清掃をしていただいていると聞き、たいへんありがたく思っています。

海を愛する気持ちを大切に、観光客や市民とのふれあいの場として安心して利用できる海岸を造り、守っていきたいと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 3番。

○3番議員（山田涼佳さん） これからももっと別府が栄えていきそうに思いました。ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、23番議員、浜脇中学校の工藤夕貴さんの一般質問をお願いいたします。

[23番議員 工藤夕貴さん、登壇]

○23番議員（工藤夕貴さん） 私は、朝見川的环境状況について質問します。私は登下校で朝見川を見る度に思うことがあります。それは何故こんなに朝見川が汚いのかという事です。朝見川にはお菓子の袋や空き缶が捨ててあったり、また不法投棄の自

転車が投げ込まれていたり、環境衛生的に良くないと思います。

このままだと、朝見川だけでなく、朝見川の汚れが海に流出し、海的环境までが悪くなります。皆が見ている気持ちが良い朝見川であってほしいです。

そこで、ごみがなくなり、水質がきれいな朝見川にするためにどのような取り組みを考えていますか。お聞かせください。

○議長（若杉衿花さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（徳部正憲君） お答えいたします。

別府市内の河川は、年4回、河口付近で水質測定を行って汚れ具合を調べています。朝見川は、ごみ等の投棄は見られますが、水質的には亀川のほうにある冷川の次にきれいで、川の汚れの目安となるBOD（生物化学的酸素要求量）という数値も1リットルあたり2ミリグラムと「鮎も生息できるほどのきれいさ」となっています。

朝見川は、岸が低く両側に道路が通っており、不法投棄が多いのも事実で、自転車や空き缶等のポイ捨てが確認されています。

この対応としましては、自治会等に協力をお願いしたり、市報などで市民によるかけをするなどして、不法投棄の防止に向けての努力をしていきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 工藤夕貴議員の質問にお答えいたします。

別府市では今年の3月「水・環境都市宣言」で、豊富な水と温泉に感謝するとともに、後世に残すことを宣言しました。

朝見川の水質につきましては、公共下水道を整備することで改善をはかっています。現在、浜脇地区の整備と、上流の南立石付近の整備を行っており、家庭から出る排水が下水道に流れるようになると、川は更にきれいになっていきます。

ごみの投棄の問題ですが、ごみを捨てない、という一人ひとりの心がけが大切だと思います。工藤議員のような意識を持っている方が増えますように、一層の啓発に努め、きれいな別府を目指していきたいと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 23番。

○23番議員（工藤夕貴さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、5番議員、西小学校の三城早希子さんの一般質問をお願いいたします。

[5番議員 三城早希子さん、登壇]

○5番議員（三城早希子さん） わたしは光町に住んでいます。学校にはたくさん遊具があって楽しく遊べますが、家の近くではないので放課後などゆっくり遊びにいけません。わたしは、いつも「家の近くに、たくさん遊具があって、小さな子どもたちも高学年の子どもたちも楽しく過ごせる公園があるといいなあ。」と思っています。

例えば、小さくてもいいから、ジャングルジムやわたり鉄ぼうなどがあると、よいと思います。小さい子はジャングルジムでおにごっこをしたりできるし、高学年の子どもたちは鉄ぼうの練習もできます。また、きれいな水飲み場も設置してほしいです。なぜなら手が汚れてしまった時や、だれかがケガをした時に使えるし、汗をかいてのどがかわいたときに水を飲んで、また元気に遊べるからです。

小さくてもよいので、遊具のたくさんある公園が地区ごとにあるといいなと思います。そこで、別府市では、遊具のある公園を作る計画があるのか、また西小学校の校区に作る計画があるのか教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 建設部長。

○建設部長（高森克史君） お答えいたします。

光町には光町チビッコ広場があり、すべり台とシーソー、そして、砂場があります。また、光町西チビッコ広場として、地区の皆さんにご利用いただいていた広場がありましたが、別府市のものではなかったもので、一時、利用できませんでした。しかし、今年、土地を買って広場として整備し、夏休み前には再び利用していただけるようになりました。

遊具をたくさん設置してほしいということについてですが、光町西チビッコ広場の広さや安全性を考え、どのような遊具がよいのか、これから、地元の皆さんと話し合いたいと考えています。また、水飲み場は設置しましたので、ご利用ください。

次に、西小学校の校区に公園を作る計画についてですが、現在、西小学校の校区には山田公園があります。今月できました光町西チビッコ広場を入れると、校区には、全部で6か所の公園や広場がある状況ですので、現在のところ、新しい公園を

作る計画はありません。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 三城早希子議員の質問にお答えいたします。

公園は、小さな子どもから高齢者の方まで、楽しく遊べて、憩うことのできる、安全な場所でなければなりません。

別府市は観光都市ですので、市民だけでなく、観光客の皆様にも親しんでいただける公園づくりを目指しています。

三城議員の住んでいる光町には、今月、光町西チビッコ広場が完成しました。お友達と、元気に仲良く遊んでください。また、遊具が設置されましたら、大切に使用していただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 5 番。

○5 番議員（三城早希子さん） ありがとうございます。これでわたしの質問を終わります。

休憩いたします。

午前 9 時 35 分 休憩

午前 9 時 45 分 再開

○議長（若杉衿花さん） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を続けます。

19 番議員、山の手中学校の五十川慎之介君の一般質問をお願いいたします。

[19 番議員 五十川慎之介君、登壇]

○19 番議員（五十川慎之介君） 別府にはいろいろな観光名所があり、それぞれ有効な使い方をし、別府市の人はもちろん、日本全国や海外にも知れ渡っています。その中でも、竹細工の文化や歴史についてもっと知ってほしいと思っています。

ぼくは小学生のころ社会見学で竹をどうやったら薄く切れるか、などを勉強してきました。薄く切った竹を折れないように曲げたりするのを見てすごいと思いました。でも、かんたんな竹細工はすぐできると思いましたが、大きくて難しそうな竹細工になると大変そうだなと思いました。

しかし、作っている人たちは力のある若い人じゃなくて、お年よりの人たちでし

た。

今は、竹細工を受け継ぐ若い人たちが減ってきているそうです。

だからぼくは伝統工芸である竹細工を受け継ぐ若い世代の人が増えてほしいと思います。

そこで、別府市では、竹細工を受け継いでいくためにはどのようなことをしているか教えてください。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

まず、別府竹細工の始まりですが、これはとても古く、4世紀頃に作られたという記述が日本書紀のなかに残されています。

江戸時代に入ると、別府温泉の名が日本全国に広まり、別府に滞在中の湯治客の生活用具として、竹で編んだ「ざる」や「かご」などが売られ、湯治客がこれらの竹製品をお土産として持ち帰ることにより、別府竹細工の評判が全国に広められました。

昭和30年代以降、安いプラスチック製品の普及により、日常品としての竹製品は次第に姿を消しましたが、昭和54年には、大分県では唯一、別府竹細工が国から伝統的工芸品の指定を受けました。

別府市竹細工伝統産業会館では、長い歴史の中で培われてきた別府竹細工独自の優れた技法や竹の種類の説明、生活用品から花籠などの美術工芸品まで数多くのすばらしい作品がいつでも見学できます。

また、すぐれた技術を受け継いでいくために、市では昭和49年から竹の教室を開催しており、これまでに約800の方が竹細工の技術指導を受けています。また、大分県竹工芸・訓練支援センターでは、毎年20人ほどの方が伝統的工芸品の製作技術を習得しており、竹製品の生産者で組織する別府竹製品協同組合も後継者の育成を行っています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 五十川慎之介議員の質問にお答えいたします。

別府を代表する産業である竹細工に関心を持っていただいたことを、とてもうれしく思います。

市では今年度から実施する中心市街地活性化基本計画に、中心商店街の空き店舗を活用して、若手の竹工芸家が実演・販売できる工房を整備する事業を盛り込んでいます。

別府竹細工の優れた技術を受け継ぐ職人さんたちによる作品は、国内外で高い評価を得ています。これからも、竹工芸品をもっと多くの人に知ってもらえるように、竹細工の関係者と協力しながら様々なイベントやインターネット等を通じて、別府竹細工の魅力を広くPRしていきます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 19番。

○19番議員（五十川慎之介君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、17番議員、東山中学校の佐藤あきさんの一般質問をお願いいたします。

[17番議員 佐藤あきさん、登壇]

○17番議員（佐藤あきさん） 私たちは、毎年クリーングリーン活動という名前のごみ拾い活動をしています。毎年やっているのに、ごみはあまり減っていないように思うことがあります。去年、市の清掃課の方に協力していただいて、みんなでごみ捨て禁止の看板を作りました。そして東山のいろいろな場所に建てました。

わたしは看板を立ててごみが前より減っているのかは、よく分かりません。今年もクリーングリーン活動をしましたが、まだまだたくさんのごみがあると思います。東山にくるお客さんなどもごみを捨てないでほしいです。そして、ごみを減らすためには、まずごみを作らないことが大切だと思います。

そこで、別府市ではごみの減量化についてどのように取り組んでいるのか教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（徳部正憲君） お答えいたします。

別府市では、ごみの減量化を推進するために、様々な取り組みをしています。たとえば、学校や公民館などで、ごみとリサイクルの学習会を開催し、ごみの正しい分け方や出し方を説明したり、リサイクルの大切さを伝えたりしています。

今年の5月には、南部子育て支援センターで「環境学習とエコ工作」を行い、参

加された皆さんに、紙パックを使った紙すきハガキづくりにチャレンジしていただきました。

また、一般の家庭から出る生ごみを減らすために、生ごみ処理機を購入される方には、その代金の一部を市が負担しています。

これからも引き続き、学習会や市報、ケーブルテレビ等を活用し、ごみを減らすための具体的な方法やリサイクルについてお知らせしていきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 佐藤あき議員の質問にお答えいたします。

別府市では、ごみの減量化を市の重点課題と位置づけ、取り組んでいます。しかし、ごみを減らすためには、市民の皆さん一人ひとりが、大量消費、大量廃棄の生活スタイルを少しずつ見直していただき、使わない物は買わない、という意識を持つことが必要だと思います。また、現在、世界的に広がっている「もったいない」という言葉の意味を、今一度考えながら、物を大切にす気持ちと再認識していただきたいと思います。それらにより、ごみの発生が抑えられ、ごみの減量につながると考えます。

佐藤議員におかれましても、東山地区を守るために参加されているクリーングリーン活動を、ぜひ続けていただきたいと思います。

これからも、美しい別府を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 17番。

○17番議員（佐藤あきさん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、30番議員、鶴見台中学校の藤原美紗さんの一般質問をお願いいたします。

[30番議員 藤原美紗さん、登壇]

○30番議員（藤原美紗さん） 最近子どもが犠牲になる事件が全国で起きています。

5月には、愛知県豊田市で高校1年生が殺される事件もありました。しかも、不審者情報がその周辺で相次いだのに、その情報はその生徒が通う高校には伝わっていませんでした。

別府でも、不審者の情報を聞くことがあります。そんな情報を聞いたとき、とて

も怖いし、自分も事件に巻き込まれるのではないかととても不安になります。別府は人目につきにくい細い道や、暗い場所が多くあります。わたしは、別府市民全員が安心できる町をつくるのが今、本当に大切なことだと思っています。別府が怖い事件などが一つもない、安全なまちになってほしいです。

そこでお伺いしたいのですが、不審者に対する安全対策として、地域の自治会ではどんな取り組みをしていますか。また小中学校のPTAではどんな活動をしていますか。教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 生活環境部長。

○企画部長（亀山 勇君） お答えいたします。

現在、市内において、40の団体、約3,500人の方々が、犯罪の予防、事故及び災害等を防止し、安全で安心な街づくりを目的にパトロール活動を実施してくださっています。このような方々を別府市地域安全パトロール隊と呼んでいます。

活動内容は地域によって様々ですが、ベストや帽子などの防犯グッズを装着して、月に1回から2回、集団で子どもたちの登下校を見守ったり、夜間パトロールを行ったりと、犯罪や犯罪被害の防止に努めていただいています。また、市では平成18年から安全で安心できるまちづくりの一環として、青色回転灯をつけた公用車によるパトロール活動を実施し、子どもを狙った犯罪の防止を図っています。

○議長（若杉衿花さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えいたします。

藤原議員ご指摘のとおり、全国で子どもが犠牲になっている凶悪事件がニュースでも多く取り上げられています。

小・中学校のPTAにおける、子どもの不審者に対する安全対策ですが、登下校時に安全指導をしたり、役員が交差点等に立って声かけをしたりするなど、安全強化に努めています。また、子どもの登下校時に、地域のボランティアの方たちが学校を守る「スクールガード」についても各学校で取り組みはじめています。

教育委員会としましては、これからも小・中学校やPTA、地域の連携を推進し、いっそうの安全対策を図っていきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 藤原美紗議員のご質問にお答えいたします。

藤原議員の「別府市民全員が安心できる町をつくりたい」という気持ち、市民を代表する者として本当にありがたく思います。

別府市では、子どもを犯罪の被害から守るために、まずは、子どもに対する「声かけ」や「つきまとい」など、犯罪被害につながる恐れのある不審者情報を正確に把握することに努めます。そして、不審者に対する注意やパトロール活動と併せて、犯罪の起きやすい危険な場所を把握し改善すること、また、子どもたちの「危険な場所を見極める目」を育てることも大切であると思っています。

これからも「地域の子どもは地域で守る」ことを意識し、警察をはじめ、学校、保護者、PTA等、地域住民が一体となり、子どもや高齢者が安全で、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 30番。

○30番議員（藤原美紗さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、9番議員、亀川小学校の長瀬慶也君の一般質問をお願いいたします。

[9番 長瀬慶也君、登壇]

○9番議員（長瀬慶也君） ぼくはこのごろ、高齢の方を地域でよく見かけます。車を運転しない高齢の方は、遠くに行くときに困るのではないかと思います。別府市の中には、1日に数回しかバスが来ないところもあるからです。バスに間に合わないと、次の日まで買い物などに行くことができないことになります。タクシーは料金が高いので、何回も利用することはできないと思います。

大分市の中心地では、70才以上の方のために、100円玉1個でバスに乗ることのできるワンコインバスを運行させているそうです。別府市でもバスのサイズを小さくするなどの工夫をして、バスが1日に数回しか来ないところにもワンコインバスを走らせたら高齢の方も喜ぶと思います。

そこで質問です。別府市でワンコインバスを導入する予定はありますか。また、高齢の方の交通手段についてどのような対策をとっていますか。教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（宇都宮俊秀君） お答えいたします。

ワンコインバスにつきましては、まず、バス会社に協力していただくことが必要です。また、JRやタクシーの利用にも影響が出るとお考えですので、それぞれの会社との話し合いも必要になると思います。

ワンコインバスを運行すれば、料金が100円と安いので、バス会社は収益をあげることが難しくなります。そうすると、別府市からバス会社にお金を払って、ワンコインバスを運行する応援をしなくてはなりません。

現在、大分市はワンコインバスを運行していますが、大分市からバス会社に支払うお金が年々増え、市の財政が苦しくなっているという状況になっていると聞いています。

これから、ますます高齢者の人口は増えると予想されます。各地域の交通状況や、財政の面など、いろいろな視点から考えたいと思います。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 長瀬慶也議員の質問にお答えいたします。

車の運転ができなくなった高齢者の方々が、日常生活の買い物などの交通手段としてワンコインバスを利用できるようになれば、大変便利だと思います。

先ほど部長がお答えしましたように、ワンコインバスを導入するにあたっては、利益があがらなくなった分のお金を別府市からバス会社に払わなければなりませんので、運行する地域、運行する回数、利用者数、運行の時間帯など、いろいろな面から考える必要があります。

別府市の財政も厳しい中ですが、見直すべきところは見直し、本当に必要な事業の実現に向けて、工夫をこらしながら検討をしたいと考えています。

長瀬議員の高齢者の方々に常に気にかけて大切に想う気持ちを大変うれしく思います。私も、常にその気持ちを忘れずに高齢者福祉行政に取り組んでいきます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 9番。

○9番議員（長瀬慶也君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、11番議員、朝日小学校の金光謙君の一般質問をお願いいたします。

[11番議員 金光謙君、登壇]

○11番議員（金光謙君） 朝日小学校では、グラウンドにたくさんのゴミが落ちています。それによくお菓子の袋やペットボトル、その他いろんなゴミが落ちています。

このままではよくないと思い、ぼくたち児童会役員で、できることを考えました。まず、最初の取り組みは、「児童集会」です。ゴミを捨てる人の劇をしたり、ゴミを捨てないようによびかけをしたりして、ゴミを減らすための全校集会をしました。

そして、5月に拾ったゴミの量と、1ヶ月後に拾うゴミの量がどのように変わるのかを調べました。これは、ゴミの量の変化を全校のみんなに知ってもらうためです。

最後は、専門委員会に協力してもらうことです。広報委員会に、ゴミを減らすポスターをお願いしました。生活委員会は、「石・草拾いゲーム」を企画しました。いろんな委員会と協力することは、大切だと思います。

これから、ぼくたちが目指す学校は、きれいで本当の笑顔がみられる学校です。そのために、児童会行事を考えていきたいと思っています。

そして、ぼくたちのスローガン「みんなでめざそう、明るい笑顔」を達成したいと思っています。

そこで質問があります。学校の外でも、たばこの吸殻や空きかん、お菓子のゴミを多く見かけますが、別府市ではゴミをなくすために、どのような工夫をしているか教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（徳部正憲君） お答えいたします。

金光議員のおっしゃるとおり、市内のいたるところでごみのポイ捨てがあり、対応に苦慮しているのが現状です。

別府市では、毎年6月には「全市一斉清掃」を、7月には「海岸海浜清掃」を実施し、市民の皆さんとともに、まちの美化に取り組んでいます。

また、自治会や市民団体の皆さんも、ボランティアで清掃活動をしてくださっています。その際、市が清掃用具の貸出しを行い、清掃活動のサポートを行っています。

美しい別府市をつくるためには、道路や公園などでかたんにごみを捨てる人に

対し、ごみが散らかっている現状や、そのごみを清掃してくださる方々がいることを知ってもらうことが必要です。市民の皆様1人1人に、自分の出したごみに責任を持つようご理解いただくためにも、市報やケーブルテレビ等で、更なる広報や啓発活動を行っていきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 金光謙議員の質問にお答えをいたします。

先ほど部長がお答えしましたとおり、別府市では、美しいまちづくりのため、いろいろな取組みを行っています。

ごみのポイ捨てに関して言いますと、平成13年に、空き缶や吸殻等が散らかることを防ぐために「別府市地域環境美化条例」を制定しました。また、毎年5月には「ポイ捨て禁止キャンペーン」として、市の職員とボランティアの方々が一体となって、別府駅前を中心にごみ拾いを行っています。

現在、金光議員が朝日小学校で取り組んでいる活動は、発想が豊かで大変素晴らしいことであると思います。

これからも朝日小学校を想う気持ちを大切に、ごみのない学校づくりに努力していただきますようお願いいたします。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 11番。

○11番議員（金光謙君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、2番議員、境川小学校の新田優作君の一般質問をお願いいたします。

[2番議員 新田優作君、登壇]

○2番議員（新田優作君） ぼくは、「修学旅行生に来てもらうためには」について質問をします。ぼくたちは、1学期に修学旅行に行きました。修学旅行当日はもちろんのこと、旅行先のことを調べる事前の学習から事後の学習まで、とても充実していました。一生の思い出になりました。友達も「大きくなったらもう一度行きたいね。」と話しています。

ところで、別府市には、昔たくさん修学旅行生が来ていたと聞いています。しかし、最近は、ほとんど見かけません。

別府市には温泉という世界に誇れる財産があります。温泉のことを集中的に学べる施設はありませんが、別府市全体で見ると別府八湯、地獄などたくさんの学ぶ場があります。事前に計画した学習の目当てにそって、グループごとにそれらをまわるのも、とても楽しい学習になると思います。

そこで、質問です。別府市としてたくさんの修学旅行生に来てもらおうと考えているのでしょうか。考えているならどのような方法をお考えですか。教えてください。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

修学旅行のかたちは、全員で一緒に観光地を見てまわるものから、体験活動や班別の自主行動を中心としたものに変化してきています。別府市では、一般の観光客と同じように、修学旅行への期待も大きく、いろいろな団体と連携をとりながら、より多くの修学旅行生に別府に来ていただけるよう、魅力ある体験プログラムのPRに努めています。

プログラムの内容についてですが、小・中学生向けには、いろいろな地獄を自主的にめぐっていただき、自然に湧く地獄の種類を学んでいただくという、温泉地の特色を活かしたプログラムを、高校生向けには、APU（立命館アジア太平洋大学）での留学生との交流や授業体験を通して、外国の方々とのコミュニケーションの力をつけていただく、という国際色あふれるプログラムを準備しています。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 新田優作議員の質問にお答えいたします。

最近では、国内の修学旅行のみならず海外からの修学旅行にも力を入れています。昨年は、国内からは約30,000人、韓国や中国の15の学校からは約500人の修学旅行生が、別府に来ていただきました。

新田議員が言われたように、修学旅行生の皆さんには、別府八湯や地獄めぐりなど、別府の魅力を体験しながら学習していただき、別府の良さを実感していただけるプログラムの充実を図りたいと思います。

今後も、別府市の特徴を活かすことはもとより、近隣の市町村などとも協力をしながら、別府のまちに修学旅行の子どもたちがあふれるよう努力していきたいと思

います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 2番。

○2番議員（新田優作君） ありがとうございました。これでぼくの質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、21番議員、朝日中学校の野木鵬太君の一般質問をお願いいたします。

[21番議員 野木鵬太君、登壇]

○21番議員（野木鵬太君） ご存じの通り、別府は世界でも有数の温泉都市です。スポーツをしている僕は、疲れた体を温泉で癒すことができる別府の地に生まれたことを本当に良かったと思います。また、別府市は別府市民球場や実相寺のサッカーグラウンド、野口原陸上競技場、べっぴアリーナなど九州に誇れるようなスポーツ施設もたくさんあります。

しかし温泉資源と、これらの施設が有効に利用されているとは思えません。わき出すお湯の9割がそのまま海に流されているという話を聞いたこともあります。スポーツ施設についても、市外、県外の人々の利用は限られていると思います。そこで「スポーツで疲れた体を温泉で癒す」という視点で温泉とスポーツ施設を融合し、全国の学生、プロ野球、Jリーグのチームがキャンプに使えるような規模のものを造って欲しいと考えます。そういった計画はないのでしょうか。ご答弁ください。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

温泉施設をつくる時は、まずその場所で泉源や給湯が確保できるか、ということを考えます。また、スポーツ施設に温泉施設をつくるということは、選手や観客が入浴することを想定しますので、試合後や練習後といった限られた時間の中で一度に大勢の入浴者が利用できるものを作らなくてはなりません。そうすると、大規模なものとなりますが、一方で営業時間中に利用者が誰もいないときのほうが多いかも知れないという心配もあります。

ほかにもいろいろ検討しなければならないことは多いのですが、もし、これらの問題をクリアし、スポーツ施設に温泉施設を作ることが可能になれば、検討していきたいと考えています。

○議長（若杉衿花さん） 教育長。

○教育長（郷司義明君） お答えいたします。

まず、「スポーツで疲れた体を温泉で癒す」という視点で、別府市のスポーツ施設を見直しますと、「実相寺中央公園」、「野口原総合運動場」、「べっぷアリーナ」等の大きなスポーツ施設のすぐ近くには、選手が団体で入浴できるような大きな温泉施設はありません。

平成19年度に、全国から別府市にスポーツで来られた方は、申請があっただけで、全国大会、西日本大会、九州大会、合宿を合わせ、合計37,054名です。そのほとんどの方々が、スポーツが終わった後は、ホテルまで戻ってホテルのお風呂に入浴しているという状況です。

野木議員が言われるように、スポーツ施設内やすぐ近くに団体で入れる温泉施設があれば、多くの方に喜ばれると思います。

しかし、室内のスポーツ施設の場合は、施設内に温泉を引きますと温泉の蒸気等で施設の傷みが激しくなることも予想されますので、施設の隣に併設ができるかどうか、また、屋外のスポーツ施設の場合は、その敷地内に大規模な温泉施設が建築できるかどうかなど、検討しなければならないこともあります。考えてみたいと思います。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 野木鵬太議員の質問にお答えいたします。

別府市は景観行政団体として、海、山、湯けむりの素晴らしい景観と日本一の温泉を生かした「住んでよし、訪れてよし」の自然環境型ONSENツーリズムのまちづくりに全力投球しています。

別府市を訪れてくださる方々に、満足していただけるような施設を目指していくことにつきましては、私も同じ考えです。

特に、野木議員が言われるように「スポーツで疲れた体を温泉で癒す」という点につきましては、私もテニスをした後にゆっくりお風呂に浸かると、本当に癒された気分になりますので、とてもよくわかります。

今後、温泉に関する法律や経費の面も含めて、別府らしいスポーツ施設のあり方について考えていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 21番。

○21番議員（野木鵬太君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 次に、7番議員、南立石小学校の姫野友美さんの一般質問をお願いいたします。

[7番議員 姫野友美さん、登壇]

○7番（姫野友美さん） わたしは犬を飼っていますが、私の家の回りにも犬を飼っている人がたくさんいます。犬をひとりの家族として生活している人も多いのではないかと思います。でも、今の別府市を考えると、犬を自由に遊ばせられる場所はほとんどありません。そのため、犬は運動もできずに、ストレスがたまっているのではないのでしょうか。そういうストレスで重い病気にかかったりする犬も増えているかもしれません。

そこで質問ですが、別府市に犬を自由に遊ばせる「ドッグラン」を設置することは可能なのでしょうか。別府市内にも、別府公園や南立石公園など広い公園があります。そんな公園の一部を使ったり、山の土地を切り開いて造ったりすることはできないのでしょうか。

ドッグランがあると、犬を飼っている人同士の交流もでき、楽しくなると思います。さらに別府は温泉も豊富です。市営の温泉に犬も入れるような設備ができれば最高です。このようなことが可能かどうか、教えてください。

○議長（若杉衿花さん） 建設部長。

○建設部長（高森克史君） お答えいたします。

姫野議員ご質問の「ドッグラン」ですが、1990年頃アメリカで犬を連れて公園を散歩する人が急速に増え、犬のフンの処理や遊ばせる場所について一般の利用者とのトラブルが多くなり、その解決方法として設置されたのが始まりと聞いています。

別府市に「ドッグラン」を設置することは可能かということですが、市内でもペットの愛好者が増え、犬を連れて公園を散歩する方々も多くなっています。散歩のときにフンを始末しない、リードを付けない等、一部のマナーを守らない方々のために、市の公園でもトラブルが発生していますし、全国的にも社会問題になっていますので、今後、愛犬家のみなさんが公園等の施設をどのように利用するのがよい

のか、「ドッグラン」という施設も含めて、研究していきたいと思います。

○議長（若杉衿花さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（阿南俊晴君） お答えいたします。

犬等のペットが入れるような温泉施設を建設することは技術的には可能ですが、施設の建設には多くの費用が必要です。温泉の整備についても、限られた予算の中で進めていかなければならないことを考えると、古くなった市営温泉の改修や建替えを優先せざるを得ない状況ですので、今のところ、ペットが入れるような温泉施設を建設する計画はありません。

○議長（若杉衿花さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 姫野友美議員の質問にお答えいたします。

今は全国的にペットブームで、姫野議員が言われるように、犬を家族の一員として生活されている愛犬家の方々も、たくさんいらっしゃいます。

「ドッグラン」につきましては、市が運営するのが良いのか、民間が経営するのが良いのか、設置する場所はどこがよいのか等、いろいろな課題があるようですので、これから勉強させていただきたいと思います。

ペットが入れるような温泉施設につきましては、先ほど部長がお答えしましたような事情で、残念ながら、すぐに建設するわけにはいかないのですが、犬を自由に遊ばせられる場所や、温泉に入れる設備があれば、犬もストレス解消できるのではないかと思う姫野議員の優しい心を今後の市政の参考にさせていただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（若杉衿花さん） 7番。

○7番（姫野友美さん） ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○議長（若杉衿花さん） 以上で、一般質問を終わります。

休憩いたします。

午前10時38分 休憩

午前10時50分 再開

○副議長（都築慶子さん） 再開いたします。

日程第5により、提言の発表を行います。発表者は12名です。提言順位により、

発表をお願いいたします。

最初に、6番議員、青山小学校の佐々木由希乃さんに提言の発表をお願いいたします。

[6番議員 佐々木由希乃さん、登壇]

○6番議員（佐々木由希乃さん） 私が通う青山小学校は、坂の多い別府市の中でも、あまり坂のない地区にあります。でも、校舎は段差が多く、階段にもスロープがついていません。また、私のクラスがある校舎には、洋式トイレが一か所しかありません。この前、私のクラスの友だちが足を骨折したときも、トイレに行くのが大変そうでした。こんな時、洋式トイレが私たちの校舎にもあったらいいのと思いました。それに、階段のほかにも、スロープやエレベーターがあればけがをした人や車椅子に乗った人も移動が楽になると思います。今の青山小学校では、車椅子の人や障がいのある人が、生活することが難しいと思います。別府市の他の学校ではスロープやエレベーターが設置されているところがあるということも聞いていますが、別府市のどの学校でも障がいのある人や、けがをした人が困らないように学校のバリアフリー化を進めていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 佐々木由希乃議員のご提言に、お答えいたします。

佐々木議員の障がい者を思いやる、やさしい気持ちが伝わってきました。

平成16年に新しく建てた南小学校には、エレベーターがありますが、現在ある古い校舎にエレベーターを設置することには、土地の広さの問題や校舎の強さの問題などがあり、残念ながらすぐには設置できない状況です。

また、学校のトイレを洋式にすることについては、各学校に要望を聞き、改修を進めているところですが、なかなかすぐにすべての学校に設置できない状況です。

今後、新しく校舎を建てる場合には、障がいのある人やケガをした人達が困らないように、学校のバリアフリー化に努めていきます。

今後も、障がい者を思う気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、4番議員、南小学校の神竜大君に提言の発表をお願い

いたします。

[4 番議員 神竜大君、登壇]

○ 4 番議員（神竜大君） 今、別府には三千人以上もの留学生が暮らしています。けれど、僕たちが留学生とふれ合える機会は学校に限られることが多いです。

そこで、「交流の日」というのを作り、それを別府市だけの祭日にしてはどうでしょうか。この日には、別府の人たちと外国の人たちが一緒に楽しめるイベントをします。例えば、大運動会など、共に喜んだり、汗を流したりできるものがよいと思います。こういった交流を通して、当たり前のように外国の人と挨拶を交わしたり、当たり前のように友だちになったりすることができるようになれば、一度自分の国に帰った留学生も、きっとまたもどって来てくれるのではないのでしょうか。

別府が、留学生が将来本当に住みたいと思う町、日本人とか外国人とか関係なく、みんなに平等でやさしいまちになっていったらよいと思います。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 神竜大議員のご提言にお答えいたします。

神議員ご提案の「交流の日」、大変すばらしい考えだと思います。

別府市は国際観光温泉文化都市として、これまで多くの外国人観光客を受け入れるとともに、アジア太平洋地域から多くの外国人留学生を受け入れてきています。おもてなしの心で一層の国際化を進めていくため、平成12年6月21日に「国際交流都市宣言」をしました。この日を「交流の日」と定めるのも一つの方法ではないかと考えています。

神議員ご提言のように、市民と留学生の皆さんが共に喜んだり、汗を流したりするイベントを開催するには、市民の皆さんや関係者の方々のご理解、ご協力が必要となってきます。

皆さんのご協力を得ながら、これからは学校だけでなく、いろいろな場所で、子どもと留学生が交流できる場を作っていきたいと思っています。そして、留学生の皆さんにも、市民の皆さんにも、「ずっと別府市に住みたい」と思っただけのような、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりに努めていきます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、14番議員、緑丘小学校の岡本昌也君に提言の発表をお

願いたします。

[14番議員 岡本昌也君、登壇]

○14番議員（岡本昌也君） ぼくは、夏休み、冬休みに家族でよく旅行に出かけます。

初めて訪れた町はとてもわくわくします。自分が今までに見たことのない物に出会えた時、とても幸せな気持ちになります。だから別府にわざわざ来てくれた人にも、こんな気持ちになってほしいと強く思います。そのためにまず大切なことは、町をきれいにすることだと思います。花やめずらしい物で、町をかざるだけでなく、町からごみをなくし、生活にすることが何より大切だと思います。

今年は大分国体があるので、美しい大分でおもてなしをするために、

- 1 別府市の競技会場や来県者を迎える場所、特に別府観光港、別府駅周辺、別府インターチェンジや沿道を花いっぱいにして、花と緑の香りいっぱいの町並みにしたらよいと思います。
- 2 たくさんのお客様に別府に来たいと思わせるために温泉湧出量日本一、別府特有の蒸し料理、旅館ホテルのお客様へのおもてなし、別府湾を一望できる夜景など、新聞広告などでアピールしたらよいと思います。
- 3 アピールのために、僕たちは、クラスでキャッチコピーを考えました。「あつい温泉とあたたかい心の町別府」、「湯けむりモクモク観光地別府」など等、どうでしょうか。

これらのキャッチコピーをメディアを通じて全国に発信してはどうでしょうか。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 岡本昌也議員のご提言にお答えいたします。

国体開催に向け、別府市では「チャレンジ！おおいた国体別府おもてなし事業」として多くの運動に取り組んでいますが、その一つに「花いっぱい運動」があります。競技会場や、お客様をお迎えする場所を花で飾るため、市内の小・中学校の生徒さんや、市民団体の方々を中心に、プランター2,000個で花を育てていただいています。

花と緑がいっぱいの会場で、監督、選手の方々を笑顔でお迎えし、別府に来てよかったと思っていただけるようなおもてなしをしたいと思いますのでご協力をお願いします。

また、全国に向けて別府をアピールするという提言についてですが、別府市は、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを進めています。今後とも別府観光の素晴らしさを全国に情報発信していきたいと思ひます。

岡本議員のクラスで考えていただいたキャッチコピーは、別府市の市民憲章の中にある「お客さまをあたたく迎えましよう」に通じるものがあります。これからもお客様へのおもてなしの気持ちを大切に持ち続けてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、10番議員、上人小学校の市原秀美さんに提言の発表をお願いいたします。

[10番議員 市原秀美さん、登壇]

○10番議員（市原秀美さん） 私たちは、四年生の時から、地域の一人暮らしの高齢者と交流をしています。

自己紹介や運動会の招待状を書いて持って行ったり、年賀状を送ったりしました。

私が手紙を持って行く高齢者の方は、足が悪くて運動会などを見に来たりすることはできませんが、手紙を届けたり送ったりすると、心のこもったお返事をくれます。

手紙には、運動会当日の天気や競技・お弁当のことや卒業式までのことなどを書いてくれます。

こんなに私達のことを心配してくれている高齢者の方がいると思うとうれしくなると同時に期待に答えられるようにがんばろうと思ひます。

一人暮らしの高齢者の方が安心して住みやすい上人校区にするために今私達ができることについて考えました。それは、「すすんであいさつをする」「交流の時だけでなく時々会いに行く」「困っていたりしたら力になる」などだと思ひます。

高齢者の方を含めて上人校区の人達が住んでいて気持ちのよい地域になっていくよう私達にできることからがんばっていきたくと思ひます。

別府市としても、高齢者の方が住みよいまちづくりに取り組んでいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 市原秀美議員のご提言にお答えいたします。

市原議員をはじめ、上人小学校の皆さんが、地域のひとり暮らしの高齢者の方々と交流を図っているということを知り、たいへんうれしく思います。

地域への深い愛着を持つ高齢者の方にとって住み慣れた地域で生涯暮らし続けることは、とても大切なことだと思います。

高齢者の方々が、海、山の自然環境に囲まれた、温泉の湯けむりたなびく別府市で、ゆったりとした高齢期を過ごし、いつまでも健康で自立した生活ができるように、また、市民が共に支え合うことによって安心して暮らせるように、これからも、様々な人や団体と協力し地域の活力を高めていくよう努めます。高齢者の方々に手紙を届けること、地域の中で、すすんで挨拶をすること、困っている方の力になること。上人小学校の皆さんが取り組まれているこれらの交流活動は、まさに別府市が目指す、市民が共に支え合うことの基本だと思います。

これからも高齢者の方々を思う気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、13番議員、春木川小学校の梶谷真央さんに提言の発表をお願いいたします。

[13番議員 梶谷真央さん、登壇]

○13番議員（梶谷真央さん） 私は、外国の方との交流について提言します。今、たくさんの留学生の方が別府の町に住んでいます。私の住んでいる地域でも外国の方の姿をよく見かけます。私は学校の英語活動を通して、留学生の方と何度か交流をしました。ゲームをしたり外国の話を聞いたりしました。また、APUのキャンパスを案内してもらったこともあります。ALTのレイチェル先生ともゲームや会話で交流しました。皆さんとても優しく接してくれて、楽しい時間を過ごせました。私たちは、もっと外国の文化や言葉を勉強したいと思っています。また、いろいろな国の人と仲良くなりたいと思っています。学校だけでなく地域や別府市でも、交流の場をもっと増やしていくことを提言します。別府市には温泉まつりやダンスフェスタなどたくさんのイベントがあります。その中で小学生と外国の人達が交流できる場を作ってはどうでしょうか。また、地域の児童館や公民館などで交流できる催し物をしたら、私たちも気軽に出かけることができます。その他、児童クラブに来てもらって遊んだりもいいと思います。たくさんの機会を作ってもらいたいと思いま

す。是非お願いします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 梶谷真央議員のご提言にお答えしたいと思います。

別府市には3つの大学があり、83の国と地域から、3,333名の留学生在が学び生活をしてしています。

現在、市内の小、中学校では、外国語指導助手のレイチェル先生が、楽しく有意義な授業をしてくださっています。9月からは、2名の外国語指導助手の先生を配置して、より多く学校に行くことができるように計画しています。

お祭りやイベントにつきましては、これまでも多くの留学生に参加していただいています。その中で留学生と市民の皆さんが、お互いにどう接すればよいのかわからず、交流がその場限りのものとなっていた状況があります。留学生と市民の皆さんが、お祭りやイベントでの交流の後もつながっていけるように、市がお手伝いできればと思っています。

また、児童館や公民館での交流活動につきましても、企画していきたいと考えています。

梶谷議員をはじめ、別府の子どもたちが、外国の素晴らしい先生と出会い語学を上達させることは、これからの国際社会を担う皆さんにとって、とても大切なことです。これからも、いろいろな交流を通して、一人でも多くの留学生と仲よくなれるよう、がんばってください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に8番議員、鶴見小学校の安部駿志君に提言の発表をお願いいたします。

[8番議員 安部駿志君、登壇]

○8番議員（安部駿志君） ぼくたち鶴見小学校は、別府養護学校の友達とずっと交流を続けています。お互いの学校を行き来し、学校の事を知り合ったり、一緒に勉強したりしながら、交流を深めています。養護学校の友達のほとんどは車椅子を利用しています。聞くと車椅子はとても高額であることを知りました。

ぼくは今、鶴見小学校で児童会に所属しています。そこで、鶴見小学校と交流している別府養護学校の友達になにかしたいと思うようになりました。今、アルミ缶

を集め、車椅子を贈ることを考えています。

別府市には、点字の歩道や音の出る信号機があり、みんなに住みよい町作りが進められています。しかし、鶴見小学校を訪れた車椅子の友達は、階段をそのままあがることはできません。

そこで、別府市には、公共施設にエレベーターやスロープを設置したり、車椅子などの購入補助金を出していただくなどして、みんなが住みよい町づくりを、さらに、進めていただくとともに、ぼくたちにできることも進んでしていきたいと考えています。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 安部駿志議員のご提言にお答えいたします。

安部議員をはじめ、鶴見小学校の皆さんが、別府養護学校の友達との交流を通して、お互いの学校や障がいのことを理解しようとしていることは、大変素晴らしいことだと思います。障がいを持つ方々の苦労や喜びは、実際に見たり聞いたりしないとわからないことが多いものです。

また、交流活動をする中で、車いすを贈りたいという願いを持ち、学校全体でアルミ缶集めに取り組んでいるという、皆さんの優しい気持ちに感激いたしました。

平成16年に新しく建てた南小学校には、エレベーターがありますが、現在ある古い校舎にエレベーターを設置するには、土地の広さの問題や校舎の強さの問題などがあり、残念ながらすぐには設置できない状況です。

これからも交流を通して、皆さんが気づいたアイデアがありましたら、ぜひ教えていただきたいと思います。別府市としてできることがあれば、可能な限り実現できるように努力していきます。

今後も、人を思いやる優しい気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、15番議員、大平山小学校の伊藤楓さんに提言の発表をお願いいたします。

[15番議員 伊藤楓さん、登壇]

○15番議員（伊藤楓さん） 私が通っている大平山小学校では、「ペットボトルキャップ集め」に取り組んでいます。ペットボトルキャップは、2,000個で20円のポリオワ

クチンが一つ買えるということ、インターネットで知りました。

自分たちで、自然や環境のためにできることを、そして、病気で困っている人のためになることを少しずつでもやっていきたいと思い、児童会で取り組むことになったのです。

全ての教室や職員室にも手作りの回収箱を置いて、全校に呼びかけ集めています。去年は、54,000個を集めました。今年はもう、40,000個以上集まっています。

ところが、困ったことも出てきました。

それは、多く集まれば集まるほど、キャップの置き場所がなくなってくるということ、また、大分県内でペットボトルキャップの回収を扱っている業者がないので福岡まで送っているということなどです。

そこで、別府市でも、ペットボトルキャップの回収など、回収の窓口を作っただけだと、私たちも安心してキャップ集めができますし、別府市民一人ひとりのリサイクルの意識、福祉意識がもっと高まると思います。よろしくお願いします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 伊藤楓議員のご提言にお答えいたします。

近年、ペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売り、そのお金を福祉に役立てる団体や個人の方が増えてきているようです。

伊藤議員をはじめ、大平山小学校の皆さんが頑張っておられる、ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを送ることは、とても素晴らしい活動であり、たいへん嬉しく思います。

2006年の世界保健機関の調べでは、ワクチン接種を受けられずに尊い命を失う子ども達が、1日約4,000人に上ると言われています。

別府市といたしましても、今後、ペットボトルキャップの回収事業につきまして、積極的に検討していきたいと思っております。

伊藤議員におかれましても、現在の取り組みをこれからも続けていくことをお願いするとともに、人を思う優しい気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、24番議員、浜脇中学校の荒金奈央子さんに提言の発表をお願いいたします。

[24番議員 荒金奈央子さん、登壇]

○24番議員（荒金奈央子さん） 私は公園のごみばこ設置について提言します。私はよく公園で遊ぶのですが、公園にお菓子の食べかすや空き缶などが落ちている様子を目にします。また、タバコの吸い殻も見かけます。私の住んでいる地域の松原公園やなかよし公園には、ごみばこが設置されていません。そのため、一部のマナーの悪い人がごみを持って帰らず、そのままにしておくのではないかと思います。

そこで、ごみばこを公園に設置すれば、自分が出したごみはきちんと捨てるのではと私は思っています。本当は、ごみを持ち帰るべきだとは思いますが、少しでも公園で遊ぶ人達が気持ちよく遊ぶことができるように、みんなが落ち着ける場となるように、公園にごみばこを設置してほしいと思います。私もごみを見かけたら拾っていきたいと思います。

よろしくお願いします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 荒金奈央子議員の提言にお答えしたいと思います。

公園内にごみ箱がないということですが、以前は市内の公園約70箇所にごみ箱を設置していました。そのごみ箱に公園で出たごみを捨てるのはよいのですが、家庭の生ごみを持ち込む人がいて、カラスや野犬がこれを公園内にまき散らすといったことがいくつかの公園でありました。このようなことが続きましたので、市内の公園のごみ箱を全部撤去しました。

荒金議員が住んでいる地域の松原公園やなかよし公園では、自治会の方々が公園愛護会という組織をつくり、公園の清掃等をしてくださっています。荒金議員も「本当はごみを持ち帰るべきだと思う。」と言われていましたが、市民一人ひとりがそのような気持ちを持っていただけたら、誰もが公園を気持ち良く利用することができると思います。

今後も、公園内にごみ箱を置かずに、「自分が出したごみは自分で持ち帰る」という、別府市民憲章の「美しい町をつくりましょう」を实践できる、観光都市別府のマナーアップ運動を推進していきたいと思います。

荒金議員も「私もおみを見かけたら拾っていきたい。」と言われた、今の気持ちを大切にして、公園利用のマナーアップにご協力ください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、18番議員、東山中学校の山口飛鳥君に提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 山口飛鳥君、登壇]

○18番議員（山口飛鳥君） 東山中学校の近くにしだかユートピアという施設が閉鎖されています。国立公園の美しい景色の中で見た目も悪いです。そこでユートピアをもう一度新しく再開発して自然観賞施設を作ってはどうか。そこで環境に関するイベントを開いたら、今まで問題になっている環境について考えてくれる人が増えるはずです。そしてユートピアは東山の自然に触れ、環境問題について考えることのできるとてもいい施設になると思います。そうなれば東山や別府市活性化になり、環境問題を考える人が増えれば地球環境も少しずつ良くなっていくんだと思います。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山口飛鳥議員のご提言にお答えいたします。

しだかユートピアは平成15年頃に閉鎖され、平成17年に会社が解散し、現在に至っています。

しだかや城島は国立公園内にあり、良好な施設管理が必要となっていますが、しだかユートピアは民間が持っている施設であり、会社の事情で営業をやめているため、再開や整備のお願いも難しいところです。

国立公園を管理する環境省に相談して、今の施設がどうなるか、また、なんとかできないか、話を聞いてみましたが、今のところ具体的な計画はないとのことでした。

しだかユートピアを利用した再開発の計画は今のところありませんが、東山地区は山や川など自然環境に恵まれた素晴らしい地域なので、その自然を生かした地域になれば、と思います。

これからも自然を思う気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、28番議員、北部中学校の西村祐人君に提言の発表をお願いいたします。

[28番議員 西村祐人君、登壇]

○28番議員（西村祐人君） 私の通う北部中学校は、いつも友達との明るい会話が聞こえる、とても気持ちのいい学校です。しかし、その途中に何度か、「この辺りには面白いものがない」、「亀川にも遊園地か何かがあれば面白いのに」といった声を聞くことがあります。

確かに、私達の住んでいる地域には、温泉や地獄めぐりといった、他県から観光に来た客には人気のある施設が数多く存在していますが、それに対して、この地域に元から住んでいる人も楽しめるような施設の数はいまだ多くないと思います。

だから私達は、亀川などに新しく、テーマパークや複合施設を建設してもらうことを希望します。こういった施設が近くにできれば、地域の人たちも近場の娯楽施設で楽しめるようになると思います。

さらに、こういった施設が新しく建設されたら、別府の更なる発展が期待できるかも知れません。

大きな施設を建設することは、土地、建設費は勿論、建設後も、維持費や経費、その他いろいろところで膨大な費用が後続的に発生すると思います。しかし私達は、亀川に大きな娯楽施設が建設されることを心から望んでいます。ですので、別府市の許す限り、娯楽施設の建設を検討してみただけではないでしょうか。

よろしくお願い致します。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 西村祐人議員のご提言にお答えいたします。

自分の住む亀川をもっと楽しい町にしたいという西村議員の思いが伝わってきて、大変うれしく思います。

大きな魅力的な施設を建設することにつきましては、西村議員も言われたとおり、土地の取得や建物建設の費用に加え、維持管理の面、そのほか様々な問題がありますので、すぐにとりかかるのは難しい状況です。

別府市では、今、地域の資源に磨きをかけて、それを活かすまちづくりを進めています。亀川地域には、素晴らしい資源がたくさんあります。登録文化財に指定されている浜田温泉資料館。亀川の鎮守であり、大分トリニータのキャラクター「ニータン」の故郷でもある八幡竈門神社をはじめ、三女神社、西光寺、西念寺など、

歴史的にも重要な神社仏閣、また、明治44年に開業した、歴史ある亀川駅などがあります。そしてなにより、地域ならではの資源を守り伝えている人情豊かな人々や、まち歩きのガイドさんもいます。新しい施設をつくることも重要ですが、それ以上に、自分が住む町のよさを見直し、地域のことを知る、そして、市民や観光客の方へ伝えていくことも大切なことだと思います。

これからも、生まれ育った亀川の町をもっと好きになって、どうすれば地域が良くなるのかをいっしょに考えていただきたいと思います。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、16番議員、東山小学校の田原輝明君に提言の発表をお願いいたします。

[16番議員 田原輝明君、登壇]

○16番議員（田原輝明君） ぼくは、別府市の文化施設について提言します。

別府市には、文化施設として美術館や図書館があります。

それらの施設では、絵を見たり、本を読んだりして勉強することができます。

しかし、博物館や科学館など楽しく学べる施設に行くには、市外に行かなければいけません。

別府にあると授業などでも見学できます。

そこで、小さな子どもたちも楽しく学べる博物館をぜひ作ってほしいと思います。

展示や活動など子どもが学び楽しめる博物館が出来れば、学校の勉強にも活用できるし、休日にも家族で楽しむことができると思います。

また、市外から来る人も増え、観光にも役立つと思います。

お金がかかるなどの問題もあると思いますが、実現に向けた取り組みをぜひ願います。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 田原輝明議員のご提言にお答えいたします。

別府市の文化施設には、「図書館」や「美術館」がありますが、他にも、別府の名産である竹工芸を学習する「別府市竹細工伝統産業会館」、亀川には「浜田温泉資料館」があり、それぞれ貴重な資料の展示を行っています。

大分県内には多くの博物館がありますが、大きな博物館となれば、3年前に福岡

県太宰府市に建設された「九州国立博物館」が有名です。別府から行くとなると1日がかかりとなるため、「このような博物館や科学館が別府にあればいいな」という気持ちは、私も同じです。

私は日本一の温泉都市である別府市に「温泉科学博物館」を建設したいと考えています。田原議員のご提言にもあるように、お金がたくさん必要となりますので、国に援助をしてもらえないか相談をしているのですが、現在のところ大変難しいようです。しかしながら、観光の発展と市民生活の充実のため、別府に建設したいと考えていますので、実現に向けてこれからも努力していきます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 次に、20番議員、山の手中学校の後藤悠さんに提言の発表をお願いいたします。

[20番議員 後藤悠さん、登壇]

○20番議員（後藤悠さん） 私は最近、別府駅の周辺にゴミが多いと思います。それは、ごく一部の人の身勝手なポイ捨てなどの行いのせいだと思います。

私達の山の手中学校では、今年マナーアップ指定校に指定されました。別府をきれいなまちにするために生徒会活動の一環で9月にクリーンアップ活動として、全校生徒で地域の清掃活動を行います。

私はこのように、みんなが少しずつ気をつけて活動をしていけば、別府はきれいになるのではないかと思います。そして、この活動を通して、地域の人にあいさつをしたり、よびかけをしたり、交流をしたりしていけば、みんなの意識はかわってくると思います。

別府をきれいなまちにするために、私たちは、自分たちのできることに取り組んでいきたいと思います。学校全体で清掃活動をするので多くの場所をすばやくキレイにできると思います。このように私たちも別府のクリーンアップに協力していきたいと思いますので、別府市でも一層の取り組みをしていただくようお願いいたします。

○副議長（都築慶子さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 後藤悠議員のご提言にお答えをいたします。

別府市では「美しい町をつくりましょう」「お客さまをあたたかく迎えましょ

う」という市民憲章を掲げています。後藤議員ご指摘の別府駅周辺は、お客様をお迎えする玄関口として非常に重要な地域ですので、ごみのない美しい状態が保たれるよう、これからも努めていきます。

別府市のクリーンアップについてですが、毎年6月に「全市一斉清掃」を、7月には「海岸海浜清掃」を実施して、市民の皆さんとともに町の美化活動に取り組んでいます。

6月1日に実施した「全市一斉清掃」では、12,249人の市民の皆さんにご参加いただき、88トンのごみを回収しました。

今後も別府市の清掃活動に、より多くの市民の皆さんにご参加いただけるよう、一層の呼びかけをしていきたいと考えています。

今年、山の手中学校はマナーアップ指定校に指定され、後藤議員をはじめ生徒の皆さん全員で地域の清掃活動を行うということですが、大変素晴らしいことだと、うれしく思います。これからも、別府の町をきれいにしたいと思う気持ちを大切にしてください。

貴重なご提言ありがとうございました。

○副議長（都築慶子さん） 以上で、提言の発表を終わります。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」を議題いたします。

提出者の29番議員、鶴見台中学校の西山育宏君から、提案理由の説明をお願いいたします。

[29番議員 西山育宏君、登壇]

○29番議員（西山育宏君） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「信頼される町 別府」

子ども宣言

私たちは今日、この子ども市議会で自分たちの住んでいる別府について考えてみました。別府はすべての市民が安心して暮らせる安全で美しい町なのか、多くの人から信頼される町であるのか、真剣に考えるよい機会になりました。

別府は日本有数の豊富な温泉、伝統工芸竹細工などがあり、観光客も多く訪れる

町です。この観光客からも愛され、信頼される別府市であってほしいと思います。別府市民であることを誇りとし、市民全員が笑顔でいられるように、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

- 1 自分たちからさわやかなあいさつをし、一人ひとり笑顔で過ごせる町、笑顔で学びあえる学校をめざしていきます。
- 2 環境問題のためにも、ゴミを出すのを減らし、別府市の大切な資源を守り、美しい町にしていきます。
- 3 別府に来たお客様を温かいおもてなしの心で迎え、親切にしていきます。
- 4 豊かな温泉や伝統工芸竹細工などの別府市の財産を大切にし、別府の魅力を一人でも多くの人に伝えていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成20年7月28日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、議員、皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○副議長（都築慶子さん） ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号子ども宣言について」に、賛成の皆さんの起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○副議長（都築慶子さん） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって可決されました。

以上で、議事のすべてを終了いたしました。

これをもって、第6回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前11時44分 閉会

[閉 会 式]

○市議会事務局（永野修子さん） ただいまから、第6回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博・別府市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） みなさん、きょうは本当にお疲れさまでございました。

小学生と中学生によるこの「べっぷ子ども市議会」、今年で第6回目を迎え、すっかり定着してまいりました。

そして、ことしも皆さんのまさに観察力の鋭い質問や素晴らしい提言、そして「信頼される町 別府」という子ども宣言をいただきまして、大変感動いたしております。

一般質問の中では、福祉や自然、環境、観光、商店街の活性化、国際化、教育と、あらゆるすべての行政分野に及んだ質問もいただきました。また別府のことや高齢者、障がい者のみなさんのことをしっかり思う心温まる質問や貴重な提言もいただいたと思っております。

私たちが皆さんの真剣な姿に一生懸命お答えしましたが、中には困ったなど、計画的に取り組んでいかななくてはならない問題、慎重に考えていかななくてはならない問題もありました。また、民間の団体や市民の皆さんの協力なしではできないこともたくさんありました。そして今回、皆さんからいただいた提言は、どれも素晴らしいものばかりでした。皆さんが住む別府をよくしたい、安全に過ごせるまちにしたい、そして学校への思いなど、私たちみんなで話し合い、少しでも実現できるようにがんばっていかねばならないと、このように考えているところでございます。

実は、皆さんはあと10年したら被選挙権が与えられます。25歳になったら市議会議員に立候補できるんです。今日の貴重な体験を生かしていただき、将来、この中からぜひ別府市議会議員に立候補して、別府のために頑張ろうという人が出てくることを期待しております。

今、皆さん方は夏休みの真っ只中です。暑い日が続きますが、健康に十分注意をして、一生懸命勉強をして、そして家族や友達、そして思い出に残る夏を過ごして

いただきたいと思います。皆さん方は、今日、学校の代表として出てこられた優秀な方ばかりです。将来、別府を背負い、日本を背負い、世界に羽ばたく人となることを期待しております。

終わりにになりましたが、第6回べっぷ子ども市議会の開催にご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、別府市PTA連合会の皆様、保護者の方々と先生方、そして別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆様方に心から感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

○市議会事務局（永野修子さん） 続きまして、郷司義明・別府市教育長より、本日頑張っていたいただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 中部中学校3年 佐藤貴洋君。

[26番議員 佐藤貴洋君、議場中央フロアに立つ]

○教育長（郷司義明君） それでは、大変よく頑張りましたので、記念品を差し上げます。自分の考えていることを皆さんに伝えていくということは、大変大事なことです。これからもしっかり頑張ってください。きょうはありがとうございました。

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局（永野修子さん） ここで、子ども議員を代表して、佐藤貴洋君からお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに来賓の皆様は、全員ご起立願います。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（佐藤貴洋君） きょうは私たちの質問や提言に対し、わかりやすく丁寧に答えていただき、ありがとうございました。

きょうの質問や提言は、私たちが暮らしている別府市をもっと住みよい町にするための市民としての思いです。市長さんを初め議員さんや市役所の職員のみなさん、明るく住みよい別府市をつくるためにがんばってください。私たちもこれからの別府市を支える子どもたちとして、大人と一緒に住みよいまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

きょうは、思い出に残る貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。（拍手）

○市議会事務局（永野修子さん） それでは、皆様ご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（永野修子さん） 以上をもちまして、第6回「べっぷ子ども市議会」の
閉会式を終了いたします。

「 信頼される町 別府 」

子ども宣言

私たちは今日、この子ども市議会で、自分たちの住んでいる別府について考えてみました。別府はすべての市民が安心して暮らせる安全で美しい町なのか、多くの人から信頼される町であるのか、真剣に考えるよい機会になりました。

別府は日本有数の豊富な温泉、伝統工芸竹細工などがあり、観光客も多く訪れる町です。この観光客からも愛され、信頼される別府市であってほしいと思います。別府市民であることを誇りとし、市民全員が笑顔でいられるように、ここに次のことを約束し、実行していくことを誓います。

- 1 自分たちからさわやかなあいさつをし、一人ひとりが笑顔で過ごせる町、笑顔で学びあえる学校をめざしていきます。
- 2 環境問題のためにも、ゴミを出すのを減らし、別府市の大切な資源を守り、美しい町にしていきます。
- 3 別府に来たお客様を温かいおもてなしの心で迎え、親切にしていきます。
- 4 豊かな温泉や伝統工芸竹細工などの別府市の財産を大切にし、別府の魅力を一人でも多くの人に伝えていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成20年7月28日

べっぴ子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し
署名します。

平成20年7月28日

会議録署名議員

新田優作

田原光軍 明

五十川慎之介



別府市議会子ども会を
支える議員連盟 会長

首藤 正

子ども議員の皆さん全員が各小中学校の代表として堂々とした態度で臨まれ、今回の子ども市議会を立派にやり遂げられたことを高く評価しております。また別府への思いを込めた質問や提言は、大人が見落としがちな点も純真な目線で鋭く捉えており、非常に感心いたしました。今後もこの貴重な経験を生かすとともに“ふるさと『べっぶ』づくり”に関心を持ち続けていただきたいと思います。

私たち市議会議員も、皆さんの思いに負けないよう、暮らしやすく、そして夢のあるまちづくりに新たな気持ちで取り組んでまいります。

ご家族、地域の皆さん、先生方、PTAの皆さん、そして市子連の皆さんには、子どもたちの健全な成長を見守っていただくとともに、諸活動への一層の温かいご指導とご支援をお願いいたします。



別府市教育長

郷司 義明

第6回「べっぶ子ども市議会」における子どもたちの発言や態度から、その子らしい多面的な見方や感じ方、豊かな心が育っていることを随所に感じることができました。

今回の発言には、「障がいのある方々が暮らしやすいまちにしたい」「川や海、公園を美しくしたい」等の学校における諸活動から生まれた切実な願いに対して、自分たちでできることをしっかり努力していこうという強い意志が表れており、将来の別府市を担う子どもたちとして大変頼もしく感じました。ご指導いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。

教育委員会といたしましても、子どもたちの純粋で真摯な願いが生かされるよう、今後も努力してまいります。



別府市子ども会
育成会連合会 会長

平松 徹夫

子ども議員の皆さん、そして子ども市議会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様、大変有り難うございました。

本年も子ども議員の皆さんが自ら課題を見つけ、学習し、堂々と発表して頂いたことに感銘を受けました。

環境や観光についての問題や福祉や教育についての疑問点など子ども議員らしく質問や提言して頂いたことが今後の別府の町づくりに活かされてくることと思っています。

本当に有り難うございました。



別府市PTA連合会
会長

後藤 智

平素より子どもたちが大変お世話になっております。

みらいを担う子どもたちにこのような貴重な経験を与えてくださった方々とともに、子ども市議会の開催にあたりご尽力された方々に感謝申し上げます。毎年同じことを思うのですが、自分たちが住んでいる別府市について子どもたちの目線でみたこと、感じていることをクラス等で話し合い代表者がこのような日頃では絶対に経験できない市議会という場所で質問、提言して発表をする、またそのことが実現することもある。

このような機会がふえることにより子どもたちに郷土愛が芽生え、そのことがますます別府の活性化に繋がりすべての面でいい方向に向かっていくと思います。

今後とも私たちPTAもみらいを担う子どもたちのためにがんばっていきたいと思っておりますのでみなさまよろしくをお願いいたします。